

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 鈴鹿市第1療育センター | | | 公表日 令和 8 年 2 月 25 日 | | |
|----------|----|--|----|-----|---------------------|---|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 無回答 | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 18 | 2 | | | ・2クラス同時に稼働している時間があり、道具の設置など、危険な時がある。 ・体も大きくなっているので合わないこともあると思う。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 18 | 2 | | | ・職員の配置数が少ないときがある。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 19 | 1 | | ・各部屋を色で示し、視覚的にわかりやすくしている。 | ・玄関が自動ドアになっているため、お子さまがボタンを押して出てしまうため危険。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 17 | 3 | | ・ほぼ毎日清掃が入っている。 | ・物を片付ける場所が少ない。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 18 | 2 | | | ・託児の部屋があると良い。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 18 | 2 | | ・活動前後にカンファレンスを実施している。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 20 | | | ・管理者や児童発達支援管理責任者等で話し合い、必要に応じて障がい福祉課と共有している。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 19 | 1 | | ・定期的に会議を行い、集約された意見を協議する場が設けられている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 13 | 7 | | | ・質の評価はアンケートにとどまっている。 ・中期経営計画や指定管理機関に合わせた計画の評価はあるが、内部評価のみである。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 20 | | | ・研修係が定期的に研修を企画して参加を呼び掛けてくれている。 ・指導を受ける機会がある。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 20 | | | ・一人ひとりの計画に沿ったプログラムになっている。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 20 | | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 20 | | | ・お子さまたち一人ひとりと向き合い、出来事等を共有し支援につなげている。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 20 | | | ・日々職員間で話し合いを行っており、一人ひとりに合わせた支援が行われている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 20 | | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 19 | 1 | 1 | ・ガイドライン等を踏まえた支援内容を設定している。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 18 | 1 | 1 | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 19 | | 1 | ・毎月担当が変わり、内容を考えている。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 19 | | 1 | ・ニーズに応じて支援を行っている。 | |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 無回答 | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
|--------------|--------|--|-----|-----|---------|---|--|
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 19 | | 1 | ・活動内容や担当、注意すべき点等について確認している。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 19 | | 1 | ・事後カンファレンスを実施し、課題等を共有している。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 19 | | 1 | ・支援内容に加え、お子さまたちの変化等についても記録している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 19 | | 1 | ・定期的にモニタリングを行い、必要に応じた見直しにつなげている。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 16 | 2 | 2 | ・ガイドラインに沿った支援を実施している。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 19 | | 1 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 18 | 1 | 1 | ・児童発達支援管理責任者を中心に、会議に参加している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 17 | 2 | 1 | ・行政との連携会議を開催し、必要な情報共有を行っている。 | |
| | 28 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。 | 15 | 4 | 1 | ・保育所等訪問支援事業を通じて行っている。 | ・保護者様を通して行っている。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 19 | | 1 | ・就学前から療育センターを利用しているため、お子さまの状況を十分に理解できている。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 14 | 4 | 2 | ・放デイは相談支援専門員より行っている。 ・保護者様からのご要望があれば、情報提供書を作成し、発行している。 | ・療育センターの対象児はすでに利用を終了しているため、当てはまるケースがない。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 16 | 2 | 2 | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 6 | 13 | 1 | | ・行事などがなく、機会が作られていない。 ・療育センターに通うお子さまが、当事業を行う中で、地域のお子さまと交流する場はない。療育センターとして、誰でも参加できる催しはある。 |
| | 33 | (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 | 14 | 4 | 2 | ・連絡会に参加するとともに、共催で研修会を開催している。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 19 | | 1 | ・送迎時において保護者様とのコミュニケーションを大切にしている。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 11 | 8 | 1 | | ・放デイはしていない。 ・児童発達支援のみ、行っている。 ・ペアレントトレーニングの機会が作られていない。 |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 19 | | 1 | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 19 | | 1 | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 19 | | 1 | ・説明し、同意をいただいている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 19 | | 1 | ・家族等からの相談があった場合に、個別に面談をしている。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 4 | 15 | 1 | | ・紹介のみである。 ・保護者様が交流できる場が作れると良いと感じる。(療育時間中など) |

| | チェック項目 | はい | いいえ | 無回答 | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
|----------|--|---|-----|-----|---------|---|--|
| 保護者への説明等 | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 19 | | 1 | ・相談などがあつた場合は、早期に対応すように心掛けている。また、相談内容によっては、関係機関などにお繋ぎするなどしている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 18 | 1 | 1 | ・SNSを中心に発信している。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 19 | | 1 | ・法人全体でコンプライアンス旬間が設けられおり、定期的に意識する機会がある。 | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 19 | | 1 | ・法人内で実施している手話講座に参加している。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 10 | 9 | 1 | ・地域の事業にブースを設けることで、地域とのつながりをつくっている。 | ・招待する機会がない。 ・行事が作れると良い。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 13 | 6 | 1 | ・感染症対応について研修を実施。 | ・訓練はしていない。 ・児童発達支援のみ行っている。 ・限られた訓練になっているため、幅広い想定で訓練を行う必要性を感じている。 |
| | 47 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 13 | 6 | 1 | ・名年度、BCPの見直しを行っている。 | ・救出訓練などはしていない。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 18 | 1 | 1 | ・保護者様から聞き取っている。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 17 | 2 | 1 | ・保護者様から聞き取っている。 ・保護者様を通して確認し、対応している。 | ・対象児がない。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 19 | | 1 | ・年度当初に安全計画について共有し、その上で支援が行われている。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 17 | 2 | 1 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 19 | | 1 | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 18 | | 2 | ・研修を行っている。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 13 | 5 | 2 | | ・基本的に保護者同伴通所のため、身体拘束は行わない。 ・身体拘束が必要なケースがない。 | |